



ロータリー：
変化をもたらす
2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー
第2600地区ガバナー
関 邦則

国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

RoKumonsen Rotary Club

創 立 1997年2月18日



2017-2018 会長：生川 秀樹 ■ 幹事：杉山 裕
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30 例会場 上田東急REIホテル2F
事務局 〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www.6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 北村 久文 ●委員 柄澤 堯



例会日誌

司 会	中澤 信敏君
開会点鐘	生川 秀樹君
斉 唱	「国歌斉唱」「奉仕の理想」
慶 祝	
	
皆出席	中澤 信敏君(7年)
誕生祝	柄澤 堯君(4日)
	横沢 正君(12日)
結婚記念祝い	小嶋 修一君(10日)
	中澤 信敏君(13日)
	西澤 尚夫君(28日)
委員会報告	
	・『ロータリーの友』紹介 柄澤 堯君
	
プログラム	
	・国連 UNCHR (国連難民高等弁務官事務所) ～動画をみて学ぼう～



会長挨拶

会長挨拶

生川秀樹君

2月 は国際理解月間です。そのため本日は、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が作成した難民支援に関する映像をユーチューブにて鑑賞していただきます。

我が国は、基本的に定住を目的とした外国人の受け入れを厳しく制限しているため、難民や移民問題に正面から向き合ってきませんでした。そもそも、難民と移民の区別もつかない方が大多数だと思います。定義は様々ありますが、世界的な人権団体アムネスティによると、「難民」は、自らまたは家族の生命や安全に恐怖をもつため、他に選択肢がなく、国を逃れる人。「移民」とは、ある場所から別の場所へ、生活のために（多くは仕事のために）、一時的または永久的に移動する人のことを指すようです。尚、国際的に合意された「移民」の定義はありませんが、「難民」の定義は、国際法において明確かつ厳格に決まっています。1951年に締結された「難民の地位に関する条約」の第一条にその定義があって、分かりやすく言うと以下の条件全てを満たす人だけのことを指します。

(1) 自国において「迫害をうけるおそれ」があ





る

- (2) 「迫害のおそれ」が、人種、宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であることや、または政治的意見に基づくものである
- (3) 既に自国外に逃れている
- (4) 自国政府の保護を受けることができない（あるいは迫害のおそれがあるから保護を望まない）

この 4 つの条件に加えて更に、「平和に対する犯罪、戦争犯罪、人道に対する犯罪、避難国外での重大な犯罪（但し政治犯罪なら OK）、あるいは国連の目的や原則に反する行為を行ったことがない」、という条件もクリアする必要があります。このように、国際法上に言う「難民」の正式な定義は、大変狭く限定的なものとなっています。よく「経済難民」とか「環境難民」とか「紛争難民」という言葉を見かけますが、国際法上は間違いです。「介護難民」や「出産難民」なども、もちろん論外です。

意外かもしれませんが、難民とは自国において上の (2) の理由に基づく「迫害」の対象となっている人だけなので、例えば国全体が戦争や紛争、テロの危険に晒されていて、その被害や危険から逃れるために出国した人は、「難民」とは見なされないのです。そのような人々のことは日本の法律制度に従って考えると、「避難民」と表現するのがより正確だと思います。

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によれば、世界の「難民」（に「難民に准ずる者」と人道的保護対象者を足したもの）の合計は、2015 年末時点で 1610 万人となっています。（ただし、この中には「パレスチナ難民」（約 520 万人）は含まれません。）時々「世界の難民の数は 6530 万人」という表現をみかけますが、「6530 万人」とは UNHCR が 2015 年末時点で世界にいると推定し

た「強制移住者」の総数です。そのうちの大多数である 4080 万人は「国内避難民」、つまりまだ自国の中で避難している人達で、彼らはまだ国境を越えていないので「難民」ではありません。国境を越えて自国外にいるのか、それともまだ自国内にいるのかは、国際的な支援策を考える上で非常に重要な違いです。

日本にも、難民認定を求めてやってくる人々が多くいます。数字は少し古いのですが 2014 年度には、前年の 3,260 人を大きく上回る約 5,000 人が日本で難民申請を行いました。しかし、日本政府が難民として認定した人はわずか 11 人でした。難民としては認められませんでした。人道的な理由を配慮し在留を認められた人が 110 人いて、認定者と合わせた 121 人が日本に在留する許可を政府から受けたこととなります。日本の難民受け入れ数は、ほかの先進国と比較すると極端に少ない状況です。2013 年の統計をみるとアメリカは約 2 万 1 千人、ドイツは 1 万 1 千人、フランスは 9 千人を難民として認定しています。

日本はこれまでに 1 度だけ大量の難民を受け入れたことがあります。1970 年代に発生したインドシナ難民です。ベトナム、ラオス、カンボジアで起こった戦争から逃れ、大量の難民が周辺国に逃がれました。この時、日本は 1 万 1 千人あまりをインドシナ難民として受け入れましたが、その後、難民問題は年々深刻化しているものの、日本の受け入れは低迷しています。平和で安全な国を維持していくために、難民問題にはあまり触れたくないと言うのが日本人の本音かも知れませんが、世界第 3 位の経済大国として、避けては通れない問題でもあると思います。本日のユーチューブを見て頂き、難民問題を考える一つのきっかけになればと思っております。





幹事報告

杉山 裕君

1. RI より
 - ・ the rotarian 2 月号
 - ・ 18 年 2 月 ロータリーレート 1\$ = 110 円
 - ・ 『平和と紛争予防』リソースのご案内
2. ロータリーの友事務所より
 - ・ 2018-19 年度 ロータリー手帳
3. 大浅間ゴルフクラブより
 - ・ 春季プレー料金表のご案内

恵送

1. 東御 RC 様・・・会報
2. 小さな親切運動様・・・冊子 春号

全会員配布物

1. 当クラブ会報・・・第 967 号
2. 月信 2 月号
3. ロータリーの友 2 月号

その他

1. 本日例会後、理事会です。
2. 次週は休会です。その翌週 20 日は 18 日の IM あり振替のため休会となります。
20 日(火)は創立夜間例会です。お間違えないようお願いいたします。



出席・ニコニコBOX報告

吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	8	-	63.63%
前々回	22	4	2	90.91%

生川秀樹君 日曜日に杉山幹事と一緒に松本市で開催された職業セミナーに参加してきました。伊那の若手パティシエのお話大変勉強になりました。

吉田 穰君 諏訪湖の御神渡りが 5 季ぶりに出現したようです。寒さ厳しい中ですが、インフルエンザにご注意

を！

大久保昌宏君 本日も寒いですが、お体には十分お気をつけ下さい。

中沢利樹男君 いよいよ平昌オリンピック始まりますね、日本人選手の活躍を期待します。

水野泰雄君 日差しは春の様です！北陸は大変な大雪。気をつけてやりましょう。

柄澤 堯君 今日はロータリーの友紹介をします。よろしく。

北村久文君 北陸大雪大変ですね。

西澤文登君 寒さが続きます。

松澤 一志君 宮原 宏一君

中澤 信敏君



プログラム

国連UNHCR

(国連難民高等弁務官事務所)紹介



国際奉仕委員長 宮原宏一君より

国連UNHCRについての説明後、

『人を守る人の手』というタイトルのユーチューブ動画を鑑賞しました。

概ね 18 分で国連UNHCR の活動や難民についての説明が分かり易くされていました。





UNHCR は国連難民高等弁務官事務所 (The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees) の略称で、1950 年に設立された国連の難民支援機関です。

紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。スイス・ジュネーブに本部を置き、約 11,000 人の職員が世界 130 개국で約 6,770 万人の支援に従事しています。

1954 年、UNHCR はヨーロッパにおける革新的な活動を評価され、ノーベル賞を受賞しました。しかし、その後すぐに次なる重大な緊急事態に直面します。

1956 年、ハンガリー革命で 20 万人が隣国のオーストリアに避難しました。UNHCR はハンガリー人を事実上の難民と認定し、難民の第三国定住支援に力を注ぎます。ハンガリー革命による混乱での経験は、人道支援団体の支援のその後のあり方を形づくりしました。

1960 年代には、アフリカ諸国の独立により、アフリカ大陸で初めて大規模な難民危機が起こりました。UNHCR は、アジアやラテンアメリカにおいても 20 年にわたり難民を支援しました。1981 年には、世界規模で難民支援を行っていることが評価され、UNHCR は 2 度目のノーベル賞を受賞しました。

21 世紀になってからも、UNHCR はアフリカ、中東そしてアジアにおける主要な難民危機を支援しています。また、UNHCR の専門知識を用いて紛争で家を追われた国内避難民への支援、そして無国籍者への支援にも活動範囲を広げました。アフリカやラテンアメリカなど一部の地域では、1951 年当時のマンデートが地域レベルの法的文書の合意により強化されました。

設立当初 30 万米ドルであった予算は、2016 年には 65 億 4000 万米ドルへと増加しました。2015 年、UNHCR は設立 65 周年を迎えました。これまでに、5000 万人以上の難民を新たな生活を再建できるように支援してきました。



2016 年データ

- 新たな避難民 --1030 万人
- 無国籍者 --約 1000 万人
- 避難を余儀なくされた人 -- 毎分 20 人
- 発展途上国で避難生活を送る難民--全体の 84%
- 18 歳未満の子ども --51%
- 帰還 --55 万 2200 人
- 新たな庇護申請--200 万件
- 第三国定住 --18 万 9300 人
- 人口に占める難民の数——レバノンが最多
- 難民発生国--トップ 3
- 受け入れ国 --トップ 6
- 庇護申請した保護者のいない子ども --7 万 5000 人

